

NANZAN  
UNIVERSITY

南山大学図書館報

ANAMIS

～デュナミス～

No.48 2005.10.1

CONTENTS

- |  |   |
|--|---|
| <p>1 図書館は「お宝の山」だ!! 外国語学部助教授：宮沢千尋</p> <p>2 学部長おすすめの本 経済学部長：花井 敏</p> <p>4 法律講座ビデオライブラリーの紹介<br/>法科大学院教授：副田隆重</p> <p>6 瀬戸図書館からの資料紹介：ゲーテンベルク聖書<br/>瀬戸図書館：関川理美</p> <p>7 データベース紹介：統計から見える利用状況<br/>～データベースと電子ジャーナル～<br/>電子情報係：杉山麻里</p> | <p>8 資料紹介：「戦争」をふりかえって<br/>図書選定委員：伊藤京子</p> <p>10 図書館利用をサポートします！<br/>「資料の探し方」登場!!<br/>閲覧・参考係</p> <p>11 名古屋図書館からのお知らせとお願い<br/>閲覧・参考係</p> <p>12 南山大学図書館 秋の企画展のお知らせ<br/>図書館利用講習会のお知らせ<br/>編集後記</p> |
|--|---|

## 図書館は「お宝の山」だ!!

宮沢 千尋

私は外国語学部アジア学科で教えているが、1年生対象の「入門ゼミ」、2年生対象の「基礎ゼミ」、3年生以上対象の「ベトナム文化研究」「ベトナム社会研究」で可能な限り、図書館利用講習会を実施している。大学で勉強するためには、図書館のさまざまなサービスに習熟しておくことが必須であると考えからだ。レポート、卒論を書くにあたって図書館を利用せずに良いものを書くことはできないし、損だ。

図書館を利用していると、本当に「お宝の山」だと思えてくる。そして、自分が期待していた以上のものに巡り会った時の喜びは、ひとしおである。今回は私のそんな経験について、お話をしたい。

世界史を高校で勉強した人なら、ファン・ボイ・チャウの東遊運動という言葉聞いたことがあると思う。もしかしたら「南山の入試にはアジアが出るよ」と高校の先生や予備校で言われて、必死に暗記した人もいるかもしれない。東遊運動は、ベトナム人ファン・ボイ・チャウが、フランスの植民地支配を倒すため、日本にベトナム青年を留学させ、早稲田大学や陸軍士官学校の予備校、名古屋の工業専門学校などで学ばせ、人材を育成し、彼らを植民地支配打倒の中核にしようとした運動である。しかし、フランスの圧力を受けて、日本政府が、チャウや100人とも200人とも言われるベトナム人学生に国外退去を命じ、1906-1907年の2年間で幕を閉じた。

と、ここまではよく研究されているのだが、チャウが日本から中国に行き、1925年にフランスに捕まってベトナムに連行されるまで、どんな活

動を行っていたのかはあまり知られていない。彼の2冊目の自伝は、その頃のことを書いているのだが、いろいろな事件の起こった年、日付などはきわめて不正確だと言われている。

ところが、ある日、名古屋キャンパスの図書館でインドシナ関係の棚を見ていた私は、一冊の薄い漢文の本を見つけて思わず声をあげた。『予愚懺』\*1)と題されたその本は、ファン・ボイ・チャウが自伝の中で自分の著作として挙げているが、現在、ベトナムで出版されている『ファン・ボイ・チャウ全集』全10巻にも、一部が収録されているのみで、全体像は知られていなかった。それが、南山の図書館から発見されたのである。しかも、序文を書いている一人は、中国の革命家孫文の片腕と言われた黄興である。1911年の辛亥革命の勢いでフランスを駆逐してくれと、チャウが孫文に頼みに行き、黄興に会うようにと言われたことは知られているが、このように著作の序文を書くまでの間柄であるとは知らなかった。しかも南山名古屋図書館には、チャウの『天乎！帝乎！』\*2)も所蔵されていて、こちらの序文は中国のデューイと言われた社会学者胡適が書いている。アメリカ流の学問を中国にもたらした胡適とベトナムの革命家の間にどのような縁があったのであろうか。これを調べるだけでも、卒論か修士論文がかけるほどのテーマである。ことほどさように、図書館は「お宝の山」なのだ。みなさんも掘り当ててみませんか？

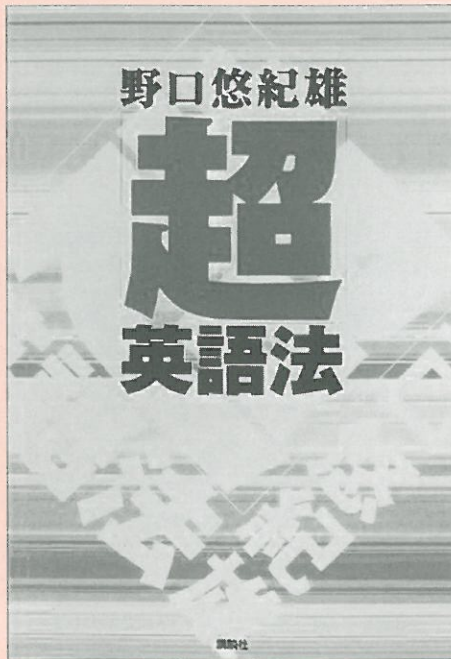
(Chihiro MIYAZAWA 外国語学部助教授)

南山大学での請求番号 ※1)223/228 ※2)223/227/v.1

学部長  
おすすめの本

## 『「超」英語法』

花井 敏



野口悠紀雄  
『「超」英語法』講談社、2004年  
[請求番号：830K/1983]

著者・野口悠紀雄氏のさまざまな書物に散見される英語に関する断片的な記述から、私は、氏が自らの経験に根ざした卓越した英語習得法を体得されていることにうすうす気づいていた。そんな氏が著した英語習得法に関する書物が、『「超」英語法』である。

類書と比べたとき本書の最大の特徴として指摘できるのは、英語学者や英語教育専門家ではなく、経済学者が書いた英語習得法であるという点である。すなわち、時間・お金などの「資源制約」のもとで「最大の効果」をあげたり、所期の目的を達成するのに最もコストの低い方法・手段を選ぶといった、経済学では周知の効率原則が英語習得法においても徹底されている点こそ、本書の最大の特徴なのである。

この効率原則を実現するには、まず、英語習得の「目的」が明らかでなければならない。本書で目的として掲げるのは、「英語のユーザー」になることである。英語「を」話すことを目的とするのではなく、まず話すべき事柄があり、それを英語「で」話すことができる人たち（これを「英語のユーザー」という）をめざすこと、これが目的である。たとえば、国際会議での報告や討論、営業マンの外国市場への売込み、海外での技術援助というように、特定の分野で特定の仕事を進める必要がある人たちにとっての英語習得法、これが本書のテーマである。

容易にわかるように、「英語のユーザー」となるには、なによりもまず自分の専門分野に関する英語の知識、とりわけ専門用語を理解しなければならない。財政政策に関する専門用語、マーケティング分野の専門用語、ダム建設に関する専門用語、などなど。専門分野以外の知識はあるに越したことはないが、「費用対効果」の観点からすれば、さしあたり無視してもよいというのが本書の立場である。

それでは、英語のユーザーになる、という目的のためにまず訓練すべきこと（手段）は何だろうか。著者は、「聞く力」だという。そもそも相手と会話しようとするとき、相手の言うことを理解せずして会話が成り立つだろうか。たとえば、挨拶や自己紹介だけを覚えて外国へ出かけても、会話ができないのは当然だろう。

本書で詳しく紹介されているが、最近では、インターネットで豊富な音源が利用できるため、

聞く訓練を実践しやすい環境がある。しかし、「聞く力」を習得する上で障害がないわけではない。これに関して本書はつぎのような面白いエピソードを紹介している。故・伊丹十三氏がエルビス・プレスリーのヒット曲「ハウンド・ドッグ」を聴いたとき、曲の冒頭部分が「湯煙 夏原（ゆえん なつばら）ハウンド・ドッグ…」と聞こえたそうだ。それで、「湯煙りの 立つや夏原 狩の犬」という俳句ではないかと思ったそうだ。「ゆえん なつばら…」と聞こえたのは、「You ain't nothing but a hound dog.」という部分である。

この笑うに笑えないエピソードは、まさに英語リスニングで躓きやすいエッセンスを伝えている。子音が消えたり（ain't の t、nothing の g は聞こえない）、隣り合った単語の語尾と語頭がくっついたり（ain't は are と not が結合して変形したもの）、音が変わってしまう（but a はバラと聞こえる）ことがある。これらのために、テープなどの再生速度を遅くしても、「やはり聞き取れない」となってしまう。

それでは、どんな種類の英語を聞き取る力を養えばいいのか。本書は、映画や歌を理解するのは難易度が高いことを説明した上で、「英語のユーザー」となるには、ニュース英語を理解できるまで訓練する必要があるという。ニュースのスピードと語彙についていければ、「英語ユーザー」としてはさしあたり十分だというわけである。

さて、本書が薦める究極の、誰にもできる勉強法は「丸暗記」である。英会話のテキスト、高校のテキストや副読本、お気に入りの人物の演説、などを丸暗記するのである。たくさん暗記しておけば、いざという時、記憶の引き出しから必要な例文を取り出し、その場に応じて名詞を変えたり、時制を変えたりすれば英文ができてしまう。しかし、記憶の引き出しに例文があまりなければ、表現に窮してしまう。

本書には、この他に実にさまざまな英語習得の知恵が散りばめられている。上で指摘したように、本書は、英語の専門家ではなく、経済学者が書いた英語習得法である。「英語のユーザー」をめざす人々に、本書を薦めるのはもちろんだが、効率を重んずる経済学者の英語習得法とはどんなものかを知りたい人にも、ぜひ一読を勧めたい。

(Satoshi HANAI：経済学部教授 経済学部長)

◆野口悠紀雄著 「超」シリーズのいくつか

書名	請求番号
「超」整理法：情報検索と発想の新システム	081K/2358/v.1159
続「超」整理法・時間編：タイム・マネジメントの新技法	081K/2358/v.1222
「超」文章法：伝えたいことをどう書くか	081L/2358/v.1662
「超」発想法	141K/1521
野口悠紀雄の「超」知的生活法	336.5K/374
「超」勉強法	370.4K/287
パソコン「超」仕事法	549/3517/A 549L/3517

※請求番号に“L”が付いている資料は瀬戸図書館所蔵



## 法律講座ビデオライブラリーの紹介

副田 隆重

最近では、法律をクイズ的に扱うテレビ番組、あるいは、弁護士がさまざまな法的トラブルの解決のために活躍するドラマなども少なくありません。学生諸君の中には、自分の将来の職業として弁護士などの法律家をめざし法科大学院（ロー・スクール）への進学を考えている人もいます。また、民間企業への就職が内定し、秋学期に向けてスキルアップを考えている人もいますに違いありません。こうした学生に限らず法律に関心のある方々に向けて、このたび図書館に入った「法律講座ビデオライブラリー」（全28巻・株式会社法学館）の紹介をさせていただきます。この資料は、4つのシリーズからできていますが、大きくいって、二つのグループに分けられます。

第一のグループ（「市民のための法律講座シリーズ」\*<sup>1)</sup> および「ビジネスパーソンのための法律入門シリーズ」\*<sup>2)</sup>）では、「はじめの憲法」、「契約法（基礎編・応用編）」、「ビジネスマンのための手形・小切手法」、「コンプライアンス入門」および「個人情報保護法入門」を内容とし、それぞれ、弁護士が講師として説明しています。卒業後は一人の独立した市民としてさまざまな契約の主体となる者にとっては、市民レベルの知識として民法上の契約のルールを知っておくことはたいへん重要ですし、また、就職後企業の中で活躍しようとする者にとっては、手形や小切手の知識、コンプライアンス（法令遵守）に関する各種法律の基礎を学ぶことも現代企業人として不可欠と思われます。

第二のグループはより専門的なものですが、まず「民事裁判実務シリーズ」\*<sup>3)</sup> においては、建物の不法占拠者に対して所有権者が訴訟を提起する事件を例にとり、法律専門家に対する事件解決依頼から判決等により事件が決着するまでの流れを実際の実務上の処理の観点を含めて解説しています。さらに「要件事実の抽出シリーズ」\*<sup>4)</sup> では、民事訴訟の中でもっとも重要な概念である要件事実（簡単に説明するのは難しいですが、裁判において当事者は何を主張、立証しなければならな

いか、に関連します)につき、さまざまな局面(貸した金銭の返還を求める場合、売買契約の履行を求める場合、借地や借家をめぐる裁判の場合、交通事故から生じた損害の賠償を求める場合等18巻にわたります。)に即して説明がなされています。要件事実教育は、法律家になるための試験である司法試験の合格者が司法修習生として司法研修所において実施されてきたものであり、法科大学院教育において、理論と実務の架橋という観点から、これを受け継ぐものです。このシリーズは、司法制度改革の中で簡易裁判所の訴訟代理権を付与されることになった司法書士向けに、要件事実の考え方の基礎を提供する教育資料です。その意味では、法科大学院生や要件事実教育を受けていない研究者教員にも有益な資料と思われる。

法律は残念ながらクイズではなく、体系的理論的な思考を必要とし地道な積み重ねが不可欠です。従来、こうした分野では視覚的教材は必ずしも多くはありませんでしたが、本資料は、一般市民レベルから法科大学院生、研究者教員まで、それぞれの関心のもとに利用が可能です。なお、付言すれば、この「ライブラリー」を製作した株式会社法学館は司法試験をはじめとする資格試験予備校として著名な伊藤塾を運営する会社です。

(Takashige SOEDA: 法科大学院教授)

**資料紹介**

**【法律講義ビデオライブラリー】**

	各巻タイトル	請求番号
※ 1	はじめての憲法：事例を通して人権を学ぼう	ME/320.8/1/v.0-1
	契約法：基礎編	ME/320.8/1/v.0-2-1
	契約法：応用編	ME/320.8/1/v.0-2-2
	ビジネスマンのための手形・小切手法：1	ME/320.8/1/v.0-3-1
	ビジネスマンのための手形・小切手法：2	ME/320.8/1/v.0-3-2
※ 2	コンプライアンス入門	ME/320.8/1/v.0-4
	個人情報保護法入門	ME/320.8/1/v.0-5
※ 3	裁判実務の実際：1	ME/320.8/1/v.0-6-1
	裁判実務の実際：2	ME/320.8/1/v.0-6-2
	裁判実務の実際：3	ME/320.8/1/v.0-6-3
※ 4	消費貸借契約関係：1	ME/320.8/1/v.0-7-1
	消費貸借契約関係：2	ME/320.8/1/v.0-7-2
	売買契約関係：1	ME/320.8/1/v.0-8-1
	売買契約関係：2	ME/320.8/1/v.0-8-2
	賃貸借契約関係：1	ME/320.8/1/v.0-9-1
	賃貸借契約関係：2	ME/320.8/1/v.0-9-2
	不動産明渡し・動産引渡し関係：1	ME/320.8/1/v.0-10-1
	不動産明渡し・動産引渡し関係：2	ME/320.8/1/v.0-10-2
	不動産登記手続請求関係：1	ME/320.8/1/v.0-11-1
	不動産登記手続請求関係：2	ME/320.8/1/v.0-11-2
	請負契約関係：1	ME/320.8/1/v.0-12-1
	請負契約関係：2	ME/320.8/1/v.0-12-2
	債権譲渡関係：1	ME/320.8/1/v.0-13-1
	債権譲渡関係：2	ME/320.8/1/v.0-13-2
	不法行為関係：1-1	ME/320.8/1/v.0-14-1
	不法行為関係：1-2	ME/320.8/1/v.0-14-2
	不法行為関係：2-1	ME/320.8/1/v.0-15-1
	不法行為関係：2-2	ME/320.8/1/v.0-15-2

\* 名古屋図書館 B1 マイクロ室配架 (NeoCILIUS Knowledge OPAC では非図書室と表示)

# 瀬戸図書館からの資料紹介

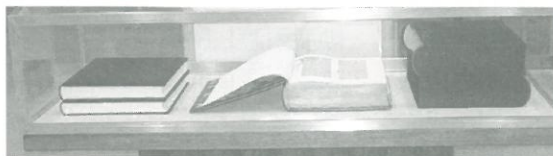
## グーテンベルク聖書

半年程前から、瀬戸図書館の中央階段付近に大きな展示ケースが置かれていますが、この中に展示されている資料が何か、皆さんご存知でしたか？高校の世界史の教科書で「グーテンベルク」という名前を目にしたことのある人も多いのではないのでしょうか。この資料は、そのグーテンベルクが1455年頃にドイツのマインツで活版印刷本として印刷したラテン語訳聖書の復刻版です。2005年3月に閉学した名古屋聖霊短期大学の図書館が所蔵していましたが、それが南山大学に移管され瀬戸図書館に設置されることとなりました。本体2巻と解説本2巻の合計4巻が展示ケースの中に収められています。

さて、この「グーテンベルク聖書」は、そのほとんどのページが42行で印刷されていることから、「42行聖書」とも呼ばれており、活版印刷術により印刷された西洋最初の書物と考えられています。当時グーテンベルクが印刷した聖書は180部前後と考えられており、そのうち不完全本も含めて48部が現存していると言われていています。現存するものの1部が、瀬戸図書館所蔵のグーテンベルク聖書（復刻版）の原本となった聖書（紙刷り本2巻（完本））で、17世紀フランスの枢機卿であったマザランの文庫から1763年に偶然発見されたことから、マザラン版と呼ばれています。グーテンベルク聖書は、黒のゴシック活字で印刷されていますが、章冒頭の装飾頭文字部分は職人の手によるものです。このマザラン版聖書の最初のページ（第1葉表）の装飾頭文字「F」は、欄外にまで装飾が施されています。また、紙には、牛や葡萄の透かし模様が入っています。この復刻版も、原本に忠実に復元されており、とても美しいものです。



**Biblia sacra Mazarinæa.**  
(193L/2789/v.1 ~ 4)



- Paris : Éditions les Incunables, c1985.
- I - II : Biblia Latina. Facsim. Reprint. Originally published: Mainz : J. Gutenberg, between 1454 and 1455. Reproduction was based on the copy in Bibliothèque Mazarine in Paris.
- v.1 - 2 : The Gutenberg Bible : a commentary : historical background, transcription, translation / Jean-Marie Dodu

(Rimi SEKIKAWA : 瀬戸図書館 関川 理美)

# 統計から見える利用状況

## ーデータベースと電子ジャーナルー

これまで何度かデータベース（以後、DB）や電子ジャーナルの利用方法についてご紹介しました。今回は視点を变えて南山大学で契約している DB・電子ジャーナルについて、利用の実情と図書館からの希望も交えてご紹介します。

なおこれからご紹介します利用統計順位は、2004年度の検索数とログイン数を基にしました。（2005年度から契約しているものは含まれていません。）

\* DB・電子ジャーナルの利用は、図書館 Web ページ (<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>) よりアクセスできます。

## よく使われている DB 総合 ベスト3

1. MAGAZINEPLUS
2. ProQuest Academic Research Library (ProQuest)
3. New York Times (ProQuest)

### 図書館から一言

日頃学部生の皆さんを中心に利用されている MAGAZINEPLUS が1位なのはうなずけます。全文を提供している Academic Research Library、そしてアメリカの代表紙 New York Times もかなり使われています。アメリカで大きなニュースがあった際、アクセスしてみてください！

## よく使われている 和新聞 DB ベスト3

1. 日経テレコン21
2. 間蔵 DNA for Libraries
3. 中日新聞・東京新聞記事 DB

### 図書館から一言

利用者の特定まではできないのですが、日経テレコン21は経済学部の皆さんがレポート、研究にお使いでしょうか。先生から学部生への課題等でのご紹介も影響しているかもしれませんね。2位と3位はあまり差がありませんでした。これ以外にもヨミダス文書館、毎日 NEWS パックがあります。事件記事の扱いなど見比べてみてください。

## 図書館プッシュ ベスト3

1. SourceOECD
2. Oxford English Dictionary Online
3. JapanKnowledge

### 図書館から一言

図書館からのお勧めを集めました。1位の SourceOECD は、OECD（経済協力開発機構）発行の図書を全文でみる事ができ、各種統計の数値もダウンロードできます。Oxford English Dictionary Online は世界最大の収録語数を誇る「オックスフォード英語大辞典」が Web 上で使えます。Japan Knowledge は日本大百科全書など 20 以上の辞典、コラム類を収蔵しています。英語のタイトルを見て、「ちょっととっつきにくそう」と思われる方、JapanKnowledge をアクセスして覗いてみてください。おもしろい発見が必ずあります。

(Mari SUGIYAMA：電子情報係 杉山 麻里)

# 資料紹介

今年は戦後60年、つまり日本に原子爆弾が投下されてから60年が経ち戦争に関する特集が様々な方面で組まれています。この夏の終戦記念日、皆さんは何か感じるものはありましたか？

図書館には世界中で起こった「戦争」をテーマとした資料が数多く所蔵されています。ここではその中でも私たちに写真を使って「戦争」を伝えてくれる資料を紹介したいと思います。

一度、手にとって見てみてはいかがでしょうか。

書名 <シリーズ名>	請求番号
戦争とフォト・ジャーナリズム <岩波フォト・ドキュメンタリー世界の戦場から>	070L/615
命こそ宝：沖縄反戦の心	081K/2356-3/v.249 081L/2356-3/v.249/A
泥まみれの死：沢田教一ベトナム写真集	081K/2419/v.0-47
一銭五厘たちの横丁	081K/2940/v.0-10
アウシュヴィッツの手紙：写真物語：アウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館を訪ねて	209K/1603
米国版対日終戦史録：第二次大戦における米国陸軍：写真記録集	210/6000
恨：朝鮮人軍夫の沖縄戦	210K/5379
沖縄戦再体験	210K/5465
写真記録日本の侵略：中国朝鮮	210K/5819
写真明治の戦争	210K/7461
あの日、広島と長崎で：写真物語	210K/7554
戦争への道：1914-1930 <目でみる戦争とくらし百科>	210K/7611/v.1
父が、兄が戦場へ：1931-1940 <目でみる戦争とくらし百科>	210K/7611/v.2
うばわれた平和なくらし：1941-1942 <目でみる戦争とくらし百科>	210K/7611/v.3
空襲と空腹の日々：1943-1945 <目でみる戦争とくらし百科>	210K/7611/v.4
平和の中でのこる戦争：1945-1975 <目でみる戦争とくらし百科>	210K/7611/v.5
空襲の記録：名古屋を中心に あれから30年・写真で証言	215K/944
琉球・沖縄写真絵画集成 1～5巻	219K/389/v.1～v.5
総史沖縄戦：写真記録	219K/393



写真記録東南アジア：歴史・戦争・日本 1～6巻	220K/403/v.1～v.6
抗日・戦争写真（抗日战争写真）	222K/2280
戦争と人間：フォトドキュメント・ベトナム	223K/468/A 223L/468
沢田教一ベトナム戦争	223K/613
観光コースでないベトナム：歴史・戦争・民族を知る旅	223L/674
ミエさんの戦争 <母と子でみる>	224K/356
シャヒード、100の命：パレスチナで生きて死ぬこと	228K/495
写真記録樺太棄民：残された韓国・朝鮮人の証言	369.3K/230
イラク湾岸戦争の子どもたち：劣化ウラン弾は何をもたらしたか	369.3K/287
写真・絵画集成日本の子どもたち：近現代を生きる 1～5巻	384.5K/215/v.1～v.5
サワダ：遺された30,000枚のネガから青森・ベトナム・カンボジア 沢田教一写真集	748K/215
戦争・平和・子どもたち：ロバート・キャパ写真集	748K/226
湾岸戦争症候群 <母と子でみる>	EC4/-013441 [指定図書]

※請求番号に“L”が付いている資料は瀬戸図書館所蔵

また、南山短期大学にも下記のような資料があります。興味がある資料があればOPAC（オンライン目録）で取り寄せすることもできます。（なお、利用者区分によっては取り寄せサービスを扱っていない場合もありますのでご了承ください。）

シリーズ名 [南短での請求番号]	各巻書名		
ヒロシマナガサキ原爆 写真・絵画集成 [210/183/v.1～v.6]	被爆の実相	惨禍の傷跡	継続する悲劇
	絶後の意思	ヒロシマ	ナガサキ
戦争と子どもたち：写真・ 絵画集成 [210/180/v.1～v.6]	戦火のなかの 日々	教室から自由が 消えた日	戦時下の暮らし
	小さな戦士 といわれて	家族と離れて 生きる	焦土から 立ち上る
子どもにつたえる世界の 戦争と平和 [209/46/v.1～v.6]	あの日を 語りつぐ	侵略の歴史を ふりかえる	戦争のなかの 民衆
	大量虐殺： ホロコースト	冷たい戦争の 時代	戦争と世界の 子どもたち

(Kyoko ITO：図書選定委員 伊藤 京子)



# 名古屋図書館からの お知らせ と お願い

## 1 防犯対策

授業・試験期間中の平日の開館時間を22時に延長してから1年半が経過しました。これまで幸いにして、夜間開館時にも事件に繋がるような大きな問題は起こっていませんが、何か起こってからでは遅いので転ばぬ先の杖として、今後も皆さんが安心して使える図書館であり続けるよう、閲覧室や書庫、階段など各スペースに防犯カメラと非常ブザーを設置しました。非常ブザーを押すとその場で警報ブザーが鳴ると同時に1階事務室と学内の総合受付でも警報ブザーが鳴ります。館内で非常事態が発生した場合には非常ブザーでお知らせください。すぐにスタッフが駆けつけ対処します。

ただし、防犯設備はどこまで整えても万全とは言えません。利用者の皆さんご自身も防犯の意識を持って頂くことが大切です。

## 2 自動扉

8月に図書館入り口の扉を自動扉に改修しました。工事期間中は利用者の皆さんに不便をおかけしましたが、これまでの頑丈で重いガラス扉が自動扉に変わり、入退館がスムーズに行えるようになりました。名古屋図書館は建物が古いため、まだまだ利用しづらい部分があるかとは思いますが、少しでも快適な利用環境が提供できるよう今後も改善に取り組んでいきたいと思っております。

## 3 飲食禁止

図書館内は飲食禁止です。しかし、残念なことですが閉館時に飲食物の残骸が捨てられているのを見かけます。目に見えなくても食べかすや水分などはカビや害虫など本に付く虫の格好の餌となります。皆さんのみならず、未来の後輩たちが気持ちよく図書館の資料を使えるよう館内での飲食はお止めください。また、館外でも図書館の資料を使うときは汚さないよう心がけてください。

## 4 個人情報の 取り扱い

図書館では皆さんの利用者情報として、氏名や連絡先・貸出記録などの個人情報を取り扱っています。これらの情報は図書館の利用にあたって必要な連絡（郵便・電話・メールの配信）や貸出情報管理・統計的集計のみに使用し、それ以外の目的で使用することはありません。また、防犯カメラで記録したデータも個人情報となりますので、南山大学個人情報保護に関するガイドラインに基づき適正な管理および取り扱いを行っています。

(閲覧・参考係)

**南山大学図書館 秋の企画展**

**カトリック作曲家 高田三郎とその世界**

**瀬戸図書館**

期間 2005年10月17日(月)～10月23日(日)  
 時間 9時30分～閉館時間まで  
 会場 瀬戸図書館 ブラウジングコーナー 横  
 ※10月23日(日)は、10時～17時まで入場できます。

**名古屋図書館**

期間 2005年10月25日(火)～11月5日(土)  
 時間 8時45分～閉館時間まで  
 会場 名古屋図書館 1階ブラウジングコーナー  
 ※11月3日(祝)・4日(金)は図書館休館日ですが、  
 3日(祝)は9時～16時まで企画展のみ入場できます。

高田留奈子夫人をはじめ多くの方々より高田三郎氏に関連する貴重な資料を数多く寄贈していただきました。この機会に、是非ご覧ください。

**図書館利用講習会のお知らせ**

秋学期に入り、読書や学習にふさわしい季節になりましたね。この機会に図書館利用講習会を受講してみませんか？図書館の利用方法や資料の場所はだいたいわかっているという方も、これからの調査や研究に役立つ情報検索能力を身に付けてレポート・卒業論文作成に役立ててください。みなさんの参加をお待ちしています。

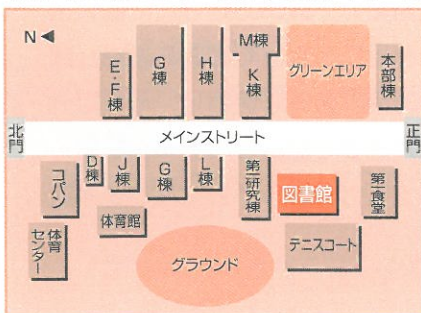
- 開催期間** 10月3日(月)～11月30日(水) (ただし土曜日を除く) \*先着順
- 所要時間** 60分(個人・グループ) 90分(ゼミ・講義)
- 申込場所** 受講を希望するキャンパスの図書館レファレンス・カウンター

人数・内容・時間など相談に応じます。

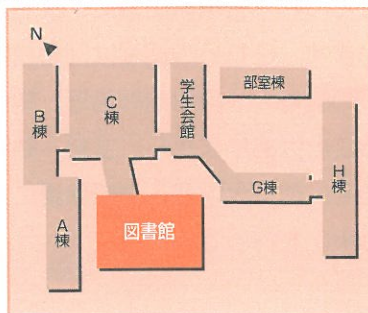
詳細については申込時に図書館レファレンス・カウンターにてお尋ねください。

《編集後記》

高田三郎作品による「ひたすらないのち 愛知演奏会」に引き続き、秋の企画展をお楽しみください(竹・中・卯)



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.48

2005. 10. 1 発行

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

発行：南山大学図書館 広報委員会

編集委員：竹内、中島(志)、卯城

印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Tel: 052 (832) 3707/Fax:052 (833) 6986

※図書館Webページでもご覧いただけます。